

保証書とアフターサービスについて

【保証書には購入年月日などが必要】

この商品には、保証書を添付しております。お買上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取り、大切に保管してください。必要事項の記入漏れは、すぐに販売店にお申し付けください。保証期間は、お買上げ日より1年間です。

【調子が悪いときは】

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買上げの販売店、またはオーム電機修理ご相談センターにご相談ください。

【保証期間中は】

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

【保証期間が過ぎた場合は】

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買上げの販売店にご相談ください。

保証書

〈持込み修理〉無償修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った使用状態で故障した場合のみ無償修理いたします。
- 保障期間中でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りまたは、自己修理、分解、調整、改造等による故障や損傷。
 - (ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗品の交換。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（販売シールや領収証でも有効です）、あるいは文字を書きかえられた場合
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障や損傷。
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

ASP-i500N (品番 03-2211)		★お買上げ日:	年	月	日	保証期間: 本体 1 年間
お客様	★お名前 様					
	★ご住所 (〒)					
電話 ()						

販売店	★住所・店名・電話・印
	(印)

(注) ★印欄に記入の無い場合（販売シールや領収証でも有効です）は、無効となりますので必ずご確認ください。
 ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
 ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店、またはオーム電機修理ご相談センターにお問い合わせください。
 ※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 埼玉県吉川市旭3-8 〒342-8502
<http://www.ohm-electric.co.jp>

お客様相談室
 フリーダイヤル（無料）
0120-963-006
※携帯電話・PHS・公衆電話からはご利用になれません。
 携帯電話・PHS・公衆電話からは
048-992-2735

修理ご相談センター
048-992-3970

電話受付時間 月～金 / 9:00～17:30
 土 / 9:00～17:00
 日、祝、年末年始 / 休み

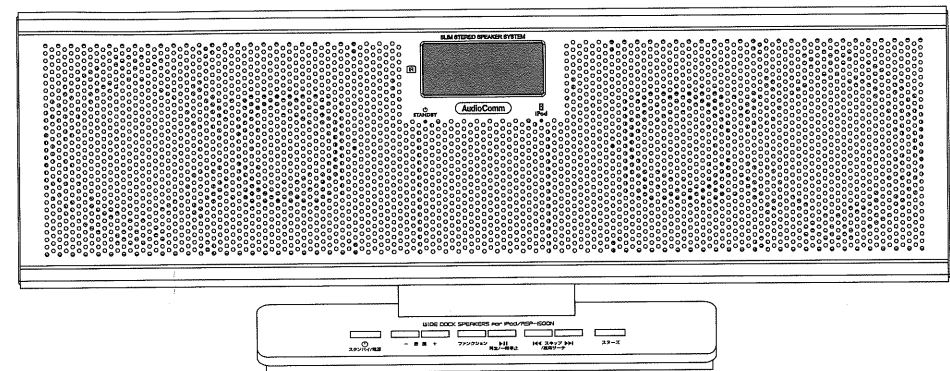
AudioComm®

Made for
iPod

WIDE DOCK SPEAKERS for iPod

ワイドDockスピーカー for iPod
ASP-i500N

iPodにマッチした
 アルミ素材のクールな質感、
 新感覚スタイリッシュ・スピーカー誕生!



このたびはお買い上げいただき
 誠にありがとうございます。

取扱説明書 保証書付

警告 電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保存してください。

※iPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

目次

安全上のご注意	1~3	便利機能について	11
電源について	4	目覚まし機能について	12
各部の名称	5~6	外部機器の音楽・音声を聴く	13
設置方法	7	故障かな?と思ったら	14
設定をする	8	お手入れ方法	14
iPodを聴く	9	主な仕様	14
FMラジオを聴く	10~11	保証書とアフターサービスについて	

安全上のご注意

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の使用例



△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターをコンセントから抜いてください)が描かれています。

この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した次にあげる損害などの附属的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がiPod、または外部接続機器へ記録した内容の損害
- 再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したることによる損害

警告

■故障したままの使用はしない



ACアダプターをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 煙が出なくなるのを確認して、販売店または弊社修理係に修理を依頼してください。

■中に水や異物が入ったら



ACアダプターをコンセントから抜いてください

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■絶対に分解したり、改造しない



分解禁止

- 本機は絶対に分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■雷が鳴りだしたら機器に触れない



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

■100V以外の電圧で使用しない



- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ACアダプターコードを傷つけたり、加工しない



- ACアダプターコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ACアダプターコードの上に重いものをせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
- ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない



水場での禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■放熱を妨げない



- 本機を、押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。

■水の入った容器を置かない



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や液体類の入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■落としたり、破損した状態で使用しない



ACアダプターをコンセントから抜いてください

- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

⚠️ 注意

■設置上の注意

- 強度の足りない台や壁、ぐらついたり傾いた所、不安定な場所等に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本機の電源を切ってから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

■次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■使用上の注意

- 音量(ボリューム)に注意してください。電源を入れたときに音量が大きすぎた場合、過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■電池について

- リモコンに専用電池(付属)を挿入する場合、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■設置上の注意

- ACアダプターコードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、ACアダプターコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ACアダプターコードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターコードを電源コンセントに差し込んだ状態で、本体のDC端子からACアダプターコードが外れていないかご注意ください。また、その状態でACアダプターコードをさわったりすると、感電する恐れがありますのでご注意ください。

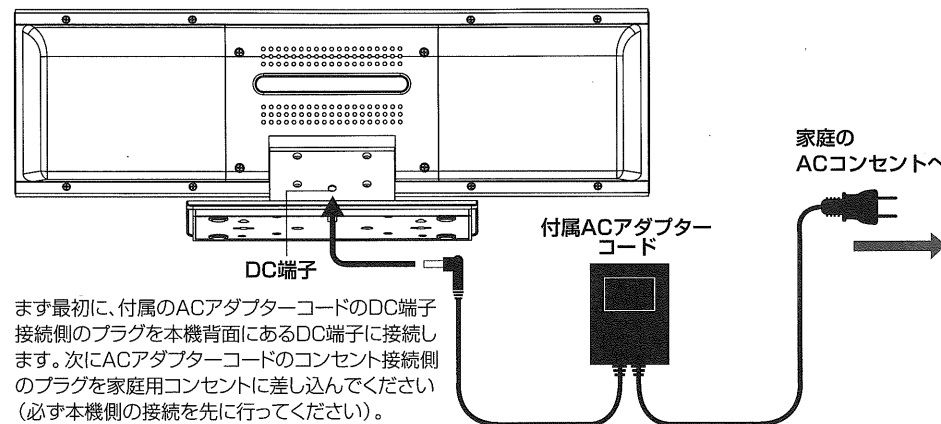
■点検・メンテナンスについて

- お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
- 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- ACアダプターにほこりがたまるると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、その製品に添付の注意書きなどをお読みください。

電源について

⚠️ **注意** ACアダプターコードを抜き差しするときは、電源が切れている状態で行なってください。

家庭用コンセントで使うには



まず最初に、付属のACアダプターコードのDC端子接続側のプラグを本機背面にあるDC端子に接続します。次にACアダプターコードのコンセント接続側のプラグを家庭用コンセントに差し込んでください(必ず本機側の接続を先に行ってください)。

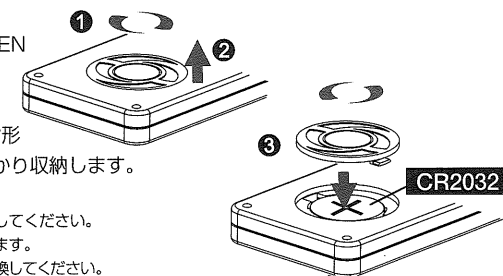
【ご注意】
付属のACアダプターコードは本機専用です。本機をご使用の際は必ずこの専用の付属ACアダプターコードをご使用ください。また、付属ACアダプターコードは他の機械には絶対に接続しないでください。故障・火災等の原因になります。

リモコン用電池について(コイン形リチウム電池:CR2032)

リモコン用電池は出荷時に既に装着されています。ご使用の際にリモコン裏の電池フタより出ている絶縁フィルムを引き抜いてご使用ください。

リモコン用電池の交換方法

- 1 リモコンの背面にある円形の電池フタを、OPENと表示された方向に指で押しながら回します。
- 2 フタのロックが外れ、フタが取れます。
- 3 電池室の古い電池を外し、新しい市販のコイン形リチウム電池CR2032を+側を表にしてしっかり収納します。
- 4 電池フタを②から①への逆の手順で閉めます。



※リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り外してください。
※電池残量が少なくなると、リモコン操作が不安定になります。
そのような症状が現れましたら新しい電池(CR2032)と交換してください。

コイン形電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠️ 危険

- コイン形電池が液漏れしたときは素手で液をさわらない。**
液が本体内部に残ることもあるので、販売店、弊社修理窓口にご連絡ください。
液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐにきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が体や衣服に付いたときも、すぐにきれいな水で洗い、皮膚にけがや炎症があるときは医師に相談してください。

⚠️ 警告

- 飲み込む恐れがあるので乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

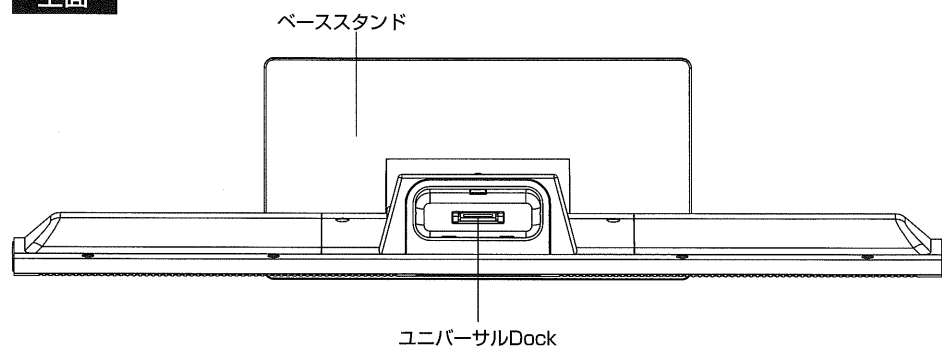
- 機器の表示に合わせてプラスとマイナスの極性を正しく入れる。
- 充電しない。火の中に入れてはいけない。分解、加熱しない。
- 金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。

⚠️ 注意

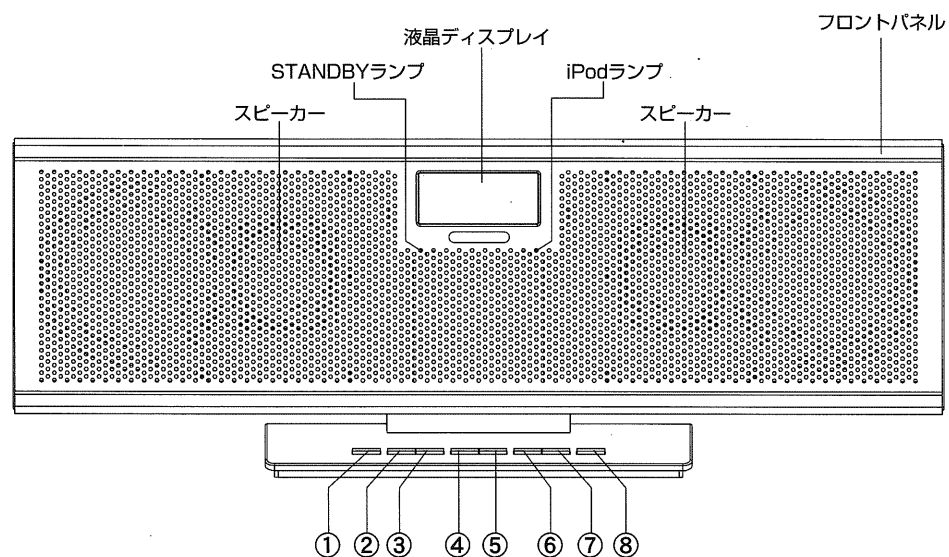
- 火のそば・直射日光の当たる所・炎天下の車中などの高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

各部の名称

上面

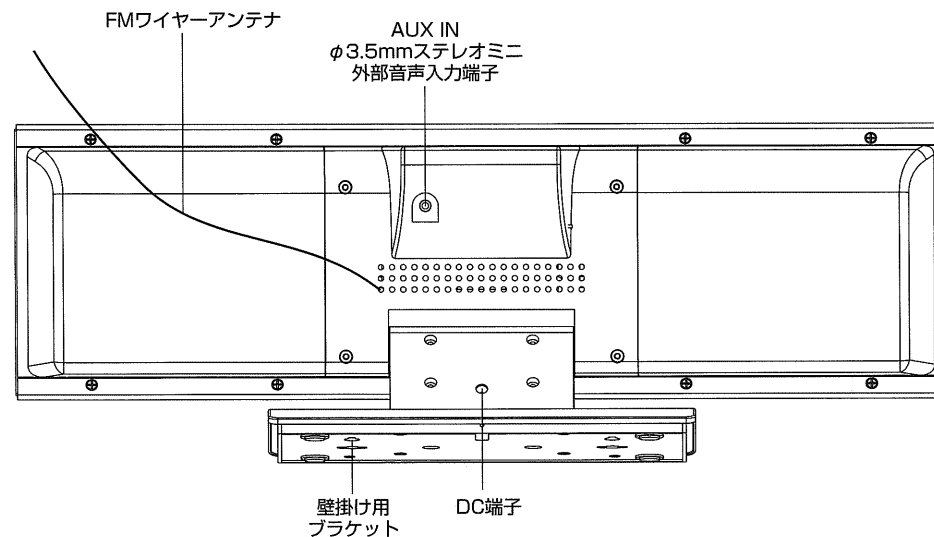


正面

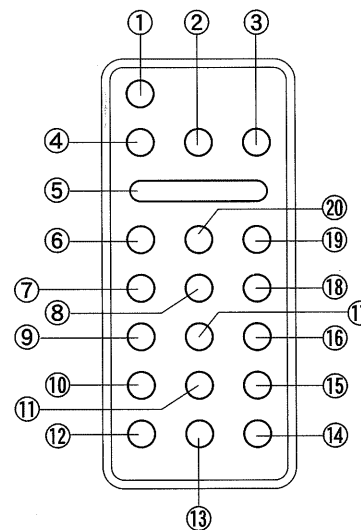


- ① スタンバイ/電源ボタン
- ② 音量ボタン(-)
- ③ 音量ボタン(+)
- ④ ファンクションボタン
- ⑤ 再生/一時停止ボタン
- ⑥ スキップ/選局サーチボタン(◀◀)
- ⑦ スキップ/選局サーチボタン(▶▶)
- ⑧ スヌーズボタン

背面



リモコン



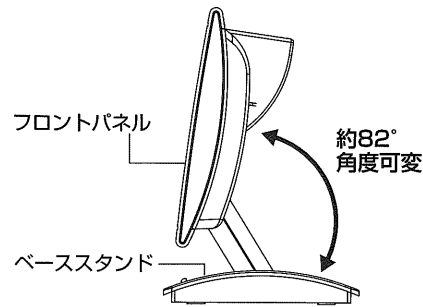
- ① スタンバイ/電源ボタン
- ② ファンクションボタン
- ③ 再生/一時停止ボタン
- ④ リピート/モノラル/ステレオボタン
- ⑤ スヌーズボタン
- ⑥ メニューボタン
- ⑦ 選択ボタン
- ⑧ プリセット/移動ボタン(◀)
- ⑨ スリープボタン
- ⑩ イコライザーボタン
- ⑪ アラーム設定(1)/切ボタン
- ⑫ 消音ボタン
- ⑬ 音量ボタン(-)
- ⑭ 音量ボタン(+)
- ⑮ アラーム設定(2)/切ボタン
- ⑯ 時計ボタン
- ⑰ メモリーボタン
- ⑱ プリセット/移動ボタン(▶)
- ⑲ スキップ/選局サーチボタン(▶▶)
- ⑳ スキップ/選局サーチボタン(◀◀)

設置方法

卓上タイプとして

本製品を卓上タイプとしてご使用になるときは、折りたたまれた状態で収納されているフロントパネルを、右図のようにベーススタンドから起こしてご使用ください。

可変角度は約82°となりますので、その範囲内でポジションを調節してください。

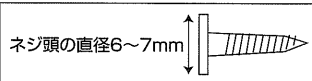


壁掛けタイプとして

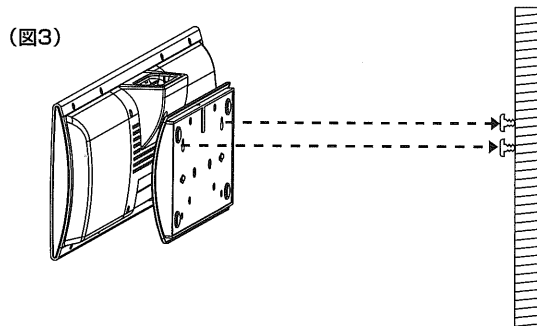
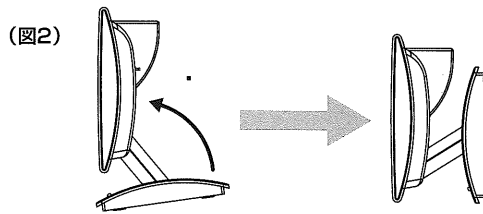
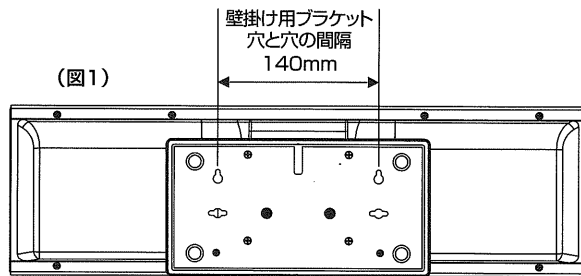
本製品は壁掛けタイプとしてもご使用いただけます。

以下の手順で設置してください。

1. 本体質量(約2.9kg)に耐える丈夫な壁を選びます。
2. ネジ頭の直径が6~7mmの2本のネジ(別売)を準備します。



3. 準備した2本のネジ(別売)を、間隔140mm(平行)で位置決めをして、壁にドライバーなどでねじ込みます(図1、図3参照)。
4. 本体を図2の様に折りたたみます。
5. 3で壁に取り付けたネジに壁掛け用ブラケットの2つの穴を合わせて、本体をしっかりとフックさせ壁に固定します。(図3参照)。



⚠️ ご注意

※本製品を壁掛けタイプとしてご使用になる場合は、壁掛け用ブラケットの穴にネジがしっかりフックされていることをご確認ください(落下の危険)。

設定をする

本体の電源について

本体のDC端子と付属ACアダプターコードを接続し、家庭用コンセントに接続すると(4頁「電源について」参照)、STANDBYランプが点灯しスタンバイモードとなります。

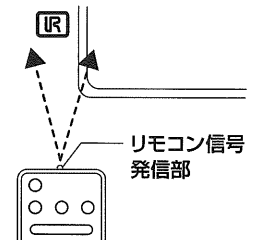
本体の電源を入れるには「スタンバイ/電源ボタン(本体/リモコン)」を押します。STANDBYランプが消灯して、液晶ディスプレイに「HELLO」表示が現れ、電源が入ります。

- 本体の電源を切るときは、「スタンバイ/電源ボタン(本体/リモコン)」を再度押します。液晶ディスプレイに「BYE」表示が現れ、STANDBYランプが点灯。スタンバイモードになります。
- 完全に本体の電源を切るときは、家庭用コンセントより付属ACアダプターコードを外します。STANDBYランプが消灯して完全に本体の電源が切れます。
- 完全に電源が切れた状態では、時計の時刻設定を始めとする各種設定が出荷時の状態に戻ります。その場合は改めて設定をし直してください。
- スタンバイモード時に「ファンクションボタン(本体/リモコン)」を押しても電源が入ります。なお、電源を切るのは「スタンバイ/電源ボタン」のみです。

リモコン信号について

付属リモコンで操作する際は、リモコン先端にあるリモコン信号発信部を本体液晶ディスプレイのIRマーク近辺(リモコン信号受信部)に向けて操作してください。IRマーク近辺から外れるとリモコン信号を受信できなくなります。

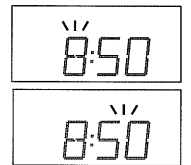
※IRマーク近辺に向けて操作してもリモコン操作が不安定なときは電池残量が少なくなって入る可能性がありますので、リモコンの電池交換をしてください。(4頁「リモコン用電池について」参照)。



時刻設定をする

1. 本体をスタンバイモードにします。
2. 「時計ボタン(リモコン)」を長押しすると液晶ディスプレイ時刻表示の「時」が点滅しますので、「スキップ/選局サーチボタン(◀▶)」を押して「時」をセットします。
3. 「時計ボタン(リモコン)」をもう一度押しすと、次に「分」が点滅しますので、「スキップ/選局サーチボタン(◀▶)」を押して「分」をセットします。
4. 「時計ボタン(リモコン)」をもう一度押しすと「時」と「分」の間のドットが点滅して時刻設定の完了です。

※「時計ボタン(リモコン)」を押すごとに12時間(AM/PM)表示と24時間表示に交互に切り替わります。



ファンクションを切り換える

1. 本体の電源を入れます(スタンバイモードでも可能)。
2. 「ファンクションボタン(本体/リモコン)」を押すごとに、液晶ディスプレイに「TUNER(FMラジオ)」「iPod」「AUX(外部音声入力)」が順に表示されて機能が切り換わります。

※「iPod」に切り換えたとき、iPodが本体のユニバーサルDockに装着されていない場合は「NOIP」と液晶ディスプレイに表示されます。

iPodを聴く

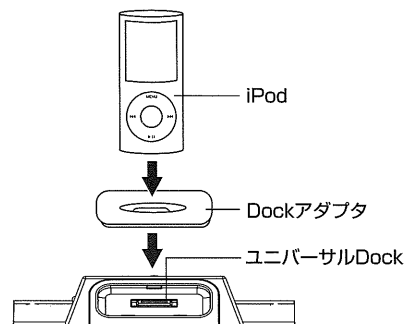
本製品のiPod対応についての詳細は添付の「iPod対応機種一覧表」をご覧ください。

本製品はiPod専用、ユニバーサルDockを装備しております。Dockコネクタ装備のiPodなら、充電機能および本製品本体・リモコンによる操作が可能です。

Dockコネクタを装備しないiPod shuffle等の機種は、φ3.5mmステレオミニプラグケーブル(別売)によるAUX IN(外部音声入力)接続で対応しています。ただし、充電および本製品本体・リモコンによる操作は出来ません。接続方法は「13頁/外部機器の音楽・音声を聴く」を参照してください。

iPodの取り付け

本製品にDockアダプタは付属していません。ユニバーサルDockとiPodの取り付けには、お手持ちのiPodに付属しているDockアダプタをご使用ください。Dockアダプタが付属していない場合はアップルストア等でご購入ください。なお、取り付けは、データ保護のためiPodの電源を切った状態で行ってください。またiPodのアクセサリ(イヤホン、カバー等)も全て取り外した状態で行ってください。



iPodの充電と再生



1. 本体がスタンバイモード(STANDBYランプ点灯)であることを確認して、お手持ちのiPodを、本体上面にあるユニバーサルDockに取り付けます(iPodの取り付け)参照。
iPodランプが点灯して充電モード*になります。
2. 「スタンバイ/電源ボタン」を押して本体の電源を入れます(STANDBYランプ消灯)。
液晶ディスプレイに「HELLO」表示が現れます。
3. 「ファンクションボタン(本体/リモコン)」を押して「iPod」を選択します。
4. iPodの画面を見ながら、本体及びリモコンでお好きな曲を選んで再生します(操作方法は右の操作一覧表を参照)。
5. 音量ボタン(+)(-)で音量調節をします(液晶ディスプレイにVOL00~MAXまで40段階表示)。
6. iPodの電源を切る時は「再生/一時停止ボタン」を長押しします(iPodは充電モードに)。
7. iPodを取り外すときは、「スタンバイ/電源ボタン」を押して本体の電源を切ったのち(STANDBYランプ点灯、液晶ディスプレイに「BYE」表示)、ユニバーサルDockより取り外してください。

*iPodを取り付けたまま本体の主電源の入/切(ACアダプターコードを抜く、家庭用コンセント側のプラグを抜くなど)を行わないでください。故障の原因となります。]

*iPodの充電は、ユニバーサルDockに取り付けた状態で本体がスタンバイ時、電源入時に自動的に充電されます(ただしラジオ使用時は充電効率が悪くなります)。

iPod操作一覧表

- **プリセット/移動ボタン**(リモコン)
選択箇所を移動をします
- **選択ボタン**(リモコン)
決定して進みます。
- **再生/一時停止ボタン**(本体&リモコン)
押すごとに再生。停止を繰り返します。
- **メニューボタン**(リモコン)
ひとつ上の階層メニューに移動します。
- **リピート/モノラル/ステレオボタン**(リモコン)
押すごとに1回リピート。連続リピート。解除を繰り返します。
- **スキップ演奏**(本体&リモコン)
演奏中にスキップボタン(▶▶)を1回押すごとに、先の曲に進み、曲の頭から演奏が始まります。スキップボタン(◀◀)を押すと、演奏中の曲の頭から、連続して2回押すと前の曲の頭から演奏が始まります(以後、押すごとに前の曲の頭に戻ります)。
- **サーチ演奏**(本体&リモコン)
演奏中にスキップボタン(▶▶)を押し続けると、早送り、スキップボタン(◀◀)を押し続けると、早戻しになります。iPod本体のバー表示を見ながら、希望のところで指を離します。

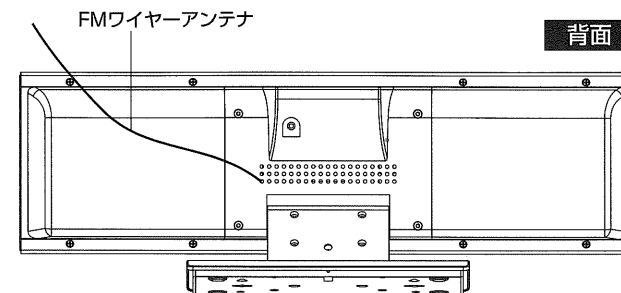
*iPod touchをご使用の際、iPod本体がスリープ状態から復帰した直後など、リモコンにてメニュー操作が効かない場合がございます。その場合はお手数ですが一度iPod本体側で操作を行ってください。

FMラジオを聴く(1)

本製品はFMラジオ受信機能を搭載しております。PLLデジタルチューニングならではの正確な選局が可能、また最大20局のメモリープリセットが出来ます。

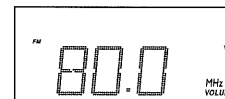
FMワイヤーアンテナについて

本製品は、FMワイヤーアンテナを採用しています。FMラジオ高感度受信のために背面から出ているFMワイヤーアンテナを伸ばした状態にして、FM感度が一番いい方向に向けてご利用ください。



FMラジオを選局する

1. 本体の電源を入れます(スタンバイモードでも可能)。
2. 「ファンクションボタン(本体/リモコン)」を押すごとに、液晶ディスプレイに「TUNER」「iPod」「AUX」が順に表示されて機能が切り換わりますので、「TUNER」を選択してください。
3. 液晶ディスプレイが選局画面になりますので「スキップ/選局サーチボタン(◀◀ ▶▶)」を押してお聴きになる局を選局します。
ステレオ放送を受信したときは液晶ディスプレイにステレオ表示されます。
4. 音量ボタン(+)(-)で音量調節をします(液晶ディスプレイにVOL00~MAXまで40段階表示)。
5. ラジオを聴き終えるときは、「スタンバイ/電源ボタン」を押して本体の電源を切ります。



FMラジオのステレオ・モノラル切替について

本製品は、FMラジオのステレオ・モノラル切替機能を搭載しております。放送内容に合わせて聴きやすい方を選択してください。切替は、リモコンの「リピート/モノラル/ステレオボタン」を押します。液晶ディスプレイに、ステレオ時は「STER」、モノラル時は「MONO」表示がされます。

●本製品は、TV音声1~3CHの受信も可能です。

液晶ディスプレイ選局画面で「スキップ/選局サーチボタン(◀◀ ▶▶)」を押して76.0MHZ以下で「TV3」「TV2」「TV1」が順番に表示。もしくは90.0MHZ以上で「TV1」「TV2」「TV3」が順番に表示され、TV音声を聴くことが出来ます。

*本製品はTV4ch-12chとUHF放送は受信できません。

*本製品ではTV放送はモノラル音声受信となります。

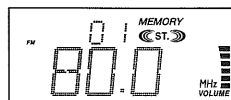
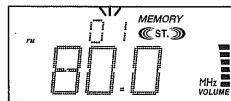
*本製品のテレビ受信回路はFM受信回路を兼用しています。このため、地域によっては、テレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

*2011年地上アナログ放送終了後は、TV音声の受信は出来なくなりますのでご了承下さい。

FMラジオを聴く(2)

FM20局プリセットメモリーの使い方

1. 本体の電源を入れます(スタンバイモードでも可能)。
2. 「ファンクションボタン(本体/リモコン)」を押すごとに、液晶ディスプレイに「TUNER」「iPod」「AUX」が順に表示されて機能が切り換わりますので、「TUNER」を選択してください。
3. 液晶ディスプレイが選局画面になりますので「スキップ/選局サーチボタン(◀▶)」(本体/リモコン)を押して記憶する局を選局します。
4. 「メモリーボタン(リモコンのみ)」を押すとメモリー番号が点滅します。
5. 「プリセット/移動ボタン(◀▶)」(リモコンのみ)で記憶したいメモリー番号を選び、再度「メモリーボタン(リモコンのみ)」を押すと点滅が点灯になり決定です。
6. 記憶する局を、項目3~5の手順を繰り返して20局まで保存できます。
7. 記憶する局を変更する場合も、項目3~5の手順を繰り返して変更できます。
8. プリセットメモリーされた局を聴くときは、「TUNER」選局画面で「プリセット/移動ボタン(◀▶)」を押すとメモリー番号が表示されますので、ボタン操作でお聴きになりたいメモリー番号を選択してください。
9. プリセットメモリーを終えるときは、「スタンバイ/電源ボタン」を押して本体の電源を切ります。



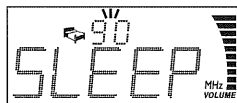
【ご注意】

本体に記憶されたプリセットメモリーは電源スタンバイモードでは保持されますが、家庭用コンセントより付属ACアダプターコードを外して、完全に電源を切りますと、消去されますので、お気をつけてください。

便利機能について

スリープタイマーの使い方

- 本製品には自動的に電源が切れスタンバイモードになるスリープタイマー機能があります。「FMラジオ」「iPod」「AUX外部音声入力」でご使用时、「スリープボタン(リモコンのみ)」を押すと、液晶ディスプレイに「SLEEP」の文字が表示され上部にタイマー時間(分)が点滅。「スリープボタン(リモコンのみ)」を押していくとタイマー時間(分)が、「90」「60」「45」「30」「15」「00(スリープ無効)」の循環表示がされます。ご希望のタイマー時間(分)で止めると、その表示分後に自動的に電源が切れスタンバイモードになります(タイマー作動中は液晶ディスプレイにベッドのアイコンが点滅)。



消音(MUTE)の使い方

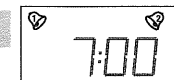
- 本製品には一時的に音量をゼロにする消音機能があります。「FMラジオ」「iPod」「AUX外部音声入力」でご使用时、「消音ボタン(リモコンのみ)」を押すと、液晶ディスプレイに「MUTE」の文字と音量レベルメーターが点滅表示され音量がゼロになります。再度ボタンを押すと消音は解除され元の音量に戻ります。

プリセットイコライザーの使い方

- 本製品にはプリセットイコライザー機能があります。「FMラジオ」「iPod」「AUX外部音声入力」でご使用时、「イコライザーボタン(リモコンのみ)」を押すごとに、液晶ディスプレイに「PASS(標準)」「CLASS(SIC)」「ROCK」「POP」「JAZZ」の循環表示がされ、音質がそれぞれの特徴に合わせて変わります。お聴きになる音楽のジャンルに合わせてお選びください。

目覚まし機能について

デュアルアラーム機能



本製品にはデュアルアラーム機能があります。アラーム設定を2通り設定して記憶させることができるため、設定する手間が軽減され便利です。

【アラーム(1)設定方法】

1. スタンバイモードの状態にします。
 2. 「アラーム設定(1)/切ボタン(リモコンのみ)」を長押しすると液晶ディスプレイに「ベル(1)」のアイコンが点滅表示され、アラーム設定時刻の「時」が点滅しますので、「スキップ/選局サーチボタン(◀▶)」を押して「時」をセットします。
 3. 再度「アラーム設定(1)/切ボタン」を押すと液晶ディスプレイにアラーム設定時刻の「分」が点滅しますので、「スキップ/選局サーチボタン(◀▶)」を押して「分」をセットします。
 4. 再度「アラーム設定(1)/切ボタン」を押すと、液晶ディスプレイにアラーム音が「TUNER(FMラジオ)」「iPod」「BUZZ(ブザー)」と循環表示されますので、「スキップ/選局サーチボタン(◀▶)」を押して好きなアラーム音を選択します。
 5. 再度「アラーム設定(1)/切ボタン」を押すと、アラーム設定(1)の完了です。液晶ディスプレイが時刻表示に戻り「ベル(1)」のアイコンが表示されます。
- ※アラーム機能の解除は、「アラーム設定(1)/切ボタン」を押します(「ベル(1)」のアイコンが消えます)。

【アラーム(2)設定方法】

- 上記「アラーム(1)設定方法」と同じ手順です。「アラーム(1)」「ベル(1)」をそれぞれ「アラーム(2)」「ベル(2)」に変更して設定してください。

【アラーム音の止め方】

- アラーム音が鳴ったときの止め方は、以下の通りです。
1. アラーム設定(1)(2)共通で「スタンバイ/電源ボタン(本体/リモコン)」を押す。
 2. アラーム設定(1)が鳴っている場合は、「アラーム設定(1)/切ボタン(リモコンのみ)」を押す。
 3. アラーム設定(2)が鳴っている場合は、「アラーム設定(2)/切ボタン(リモコンのみ)」を押す。
- アラーム音を止めたあとも、アラーム設定時刻は保持されて翌日同時刻にアラーム音が鳴ります。液晶ディスプレイに「ベル」のアイコンが表示されます。
 - アラーム音を止めたあと、再度「アラーム設定(1)(2)/切ボタン(リモコンのみ)」を押して液晶ディスプレイの「ベル」のアイコン表示が消えれば、翌日同時刻にアラーム音は鳴りません。ただし再度押して、「ベル」のアイコンが表示されればアラーム設定は復活します。
 - 本体に記憶されたアラーム設定時刻は電源スタンバイモードでは保持されますが、家庭用コンセントより付属ACアダプターコードを外して、完全に電源を切りますと、消去されますので、お気をつけてください。
 - アラーム音を「TUNER(ラジオ)」「iPod」に設定している場合は音量をあらかじめ適度な音量に設定してください。

スヌーズ機能

- 本製品にはスヌーズ機能があります。「TUNER(ラジオ)」「iPod」「BUZZ(ブザー)」がアラーム機能で音が鳴った時に「スヌーズボタン」を押すと、いったん音が止まり5分後にまた音が鳴ります。これを約1時間の間繰り返します。

外部機器の音楽・音声を聴く

外部機器を接続する

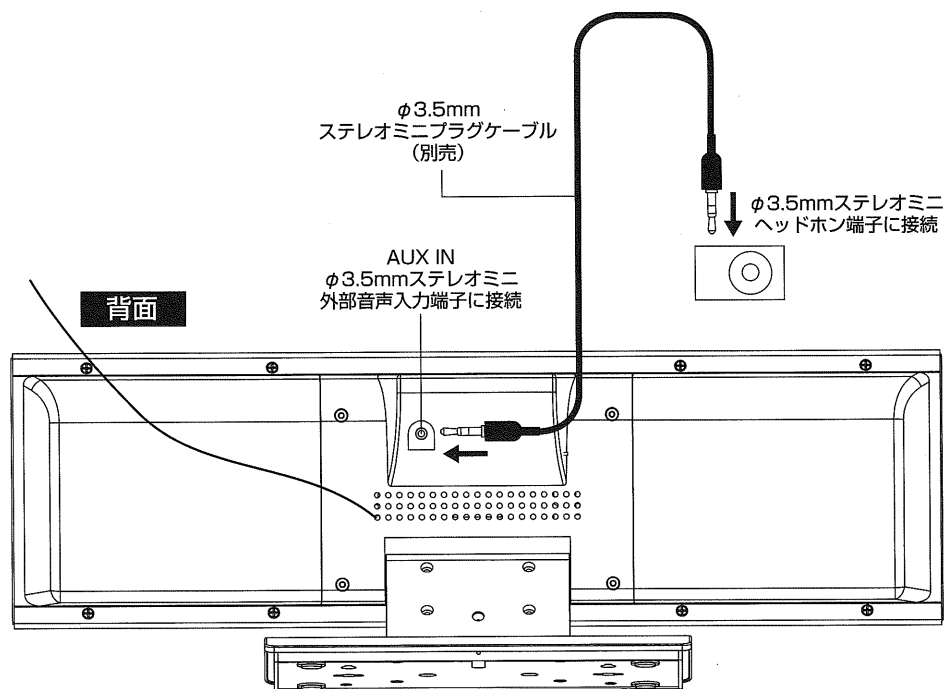
本製品には、AUX IN (外部音声入力) 機能があります

本体背面にあるAUX INφ3.5mmステレオミニ外部音声入力端子を使って外部機器に接続することが可能です。Dockコネクタを装備しないiPod shuffle等の機種や、ポータブルCDプレーヤー等のデジタルオーディオプレーヤーをφ3.5mmステレオミニプラグケーブル (別売) で接続することによって、本製品で音楽や音声を楽しむことができます。

【接続方法と聴き方】

1. 接続する機器の電源を切り、本体もスタンバイモードにします。
2. 接続する機器のφ3.5mmステレオミニヘッドホン端子と、本体背面のAUX INφ3.5mmステレオミニ外部音声入力端子をφ3.5mmステレオミニプラグケーブル (別売) で接続します (下図参照)。
3. 接続した機器の電源を入れて音量を絞ります。
4. 「スタンバイ/電源ボタン (本体・リモコン)」を押して本体側の電源を入れて、音量を絞ります。
5. 「ファンクションボタン (本体/リモコン)」を押すごとに、液晶ディスプレイに「TUNER」「iPod」「AUX」が順に表示されて機能が切り換わりますので、「AUX」を選択してください。
6. 接続した機器を再生します。
7. 接続した機器と本体側の音量でそれぞれ最適な音量に調節してお聴きください。
8. 聴き終わりましたら、本体側、および接続した機器の電源を切ります。

※外部機器を本体から取り外すときは、安全のためどちらも電源を切った状態で取り外してください。



故障かな?と思ったら

症状	チェック項目
音がでない (ラジオ/接続した外部機器)	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源が入っていますか。 ●ACアダプターコードがしっかり接続されていますか。 ●本体および接続した外部機器の音量が最小になっていませんか。 ●消音 (MUTE) になっていませんか。 ●ファンクションが正しく選択されていますか。 ●外部機器が正しく接続されていますか。
iPodが演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源が入っていますか。 ●ACアダプターコードがしっかり接続されていますか。 ●本体およびiPodの音量が最小になっていませんか。 ●消音 (MUTE) になっていませんか。 ●iPodが正しく装着されていますか。 ●ファンクションが正しく選択されていますか。 ●iPodが再生の状態になっていますか。
iPodの充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源が入っていますか。 ●ACアダプターコードがしっかり接続されていますか。 ●iPodが正しく装着されていますか。
ラジオ時に雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●近くで携帯電話を使用していませんか (携帯電話を本機から離して使用)。 ●FMワイヤーアンテナを伸ばしていますか。

お手入れ方法

●本体のクリーニング

本機表面の汚れは柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いたあと、から拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。
















主な仕様

電源	本体 AC100V(50 / 60Hz) 付属のACアダプター (DC13.5V 2000mA ⊖ ⊕)
ラジオ受信周波数	FM:76~90MHz、TV1、TV2、TV3
スピーカー	口径57mm×2
出力	5W+5W (r.m.s)
本体寸法	幅502mm×高148mm×奥行82mm (突起物含まず)
質量	約2.9kg
付属品	ACアダプター、リモコン、リモコン用電池 (CR2032×1個)、取扱説明書/保証書付

※仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

iPod 対応機種一覧表

——— 本製品にiPod本体は付属しておりません。 ———

 <p>iPod mini 4GB 6GB</p>	 <p>iPod 4th generation 20GB</p>	 <p>iPod 4th generation 40GB</p>
 <p>iPod 4th generation (colour display) 20GB 30GB</p>	 <p>iPod 4th generation (colour display) 40GB 60GB</p>	 <p>iPod 5th generation (video) 30GB</p>
 <p>iPod 5th generation (video) 60GB 80GB</p>	 <p>iPod nano 1st generation 1GB 2GB 4GB</p>	 <p>iPod nano 2nd generation (aluminum) 2GB 4GB 8GB</p>
 <p>iPod nano 3rd generation (video) 4GB 8GB</p>	 <p>iPod nano 4th generation 8GB 16GB</p>	 <p>iPod classic 80GB 160GB</p>
 <p>iPod classic 2nd generation 120GB</p>	 <p>iPod touch 8GB 16GB 32GB</p>	 <p>iPod touch 2nd generation 8GB 16GB 32GB</p>

※ Dockコネクタを装備しない iPod shuffle等の機種は、φ3.5mmステレオミニプラグケーブル(別売)による接続が可能です。ただし、充電および本製品本体・リモコンによる操作は出来ません。